

2022年3月15日 B型肝炎ワクチンについて

こんにちは。もりもりキッズアレルギークリニックです。

日差しが春の暖かさを感じられる季節になりました。お子さんの進級や進学を楽しみにされている親御さんも多いのではないのでしょうか。

学年が上がる時に確認をしていただきたい事の一つに予防接種があります。予防接種は、ワクチンの種類によって接種年齢や間隔が異なります。今では定期接種に含まれるB型肝炎ワクチンも、平成28年9月30日以前に生まれたお子さんは任意接種のため未接種の方がいらっしゃるかと思います。B型肝炎は5歳未満の乳児期に感染するとキャリア(ウイルスを体内に保有した状態)になる可能性が高く、将来慢性肝炎や肝硬変、肝がんになる恐れがあります。世界初のがん予防となるB型肝炎ワクチンの接種を是非ご検討ください。

コロナ禍の為コロナワクチンが注目されがちですが、小児の予防接種はどれも大切なものばかりです。ワクチンについてご不明点がございましたら、お気軽にご相談ください。お子さんの健やかな成長、発達を共に見守っていかれたらと思います。



※2回目と3回目の接種については、6日間以上の間隔をあけて下さい。